

令和 6 年度 第 1 回富里市総合教育会議議事録

日 時 令和 6 年 5 月 2 8 日（火）

午後 3 時 3 0 分～午後 3 時 5 0 分

場 所 本庁舎 3 階 第 3 会議室

■出席者

五十嵐市長、吉野教育長、會田教育長職務代理者、田口委員、川口委員、
内田委員、五十嵐総務部長、藤田健康福祉部長、中津子育て支援課長、
中川教育部長、中澤教育総務課長、篠原課長補佐、中松学校教育課長、
池内生涯学習課長

【事務局】

鈴木企画財政部長、山崎経営戦略課長、鈴木課長補佐、若梅主事

■配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1 「スポーツ鬼ごっこ」導入について
- ・ 別添資料 「スポーツ鬼ごっこ」小学校導入スケジュール

■ 次第

1 開 会

2 市長及び教育長あいさつ

3 協議事項

- (1) 「とみさと元気なまち宣言」に基づく鬼ごっこを取り入れた運動遊びの推進について

【学校教育課長】

- ・ 資料を基に説明

【市長】

- ・ 委員の皆様から意見等を伺いたい。

【教育委員】

- ・ 体力測定の結果等を見るとかなり成果が上がっていて、すばらしい取組だと思う。体育で鬼ごっこを取り入れるとそれまで行っていたカリキュラムを削ることになると思うが、何と入れ替えるのか。また、それは問題ないか。

【学校教育課長】

- ・ 小学校低学年は、体づくり運動遊びという単元があり、その中には、多様な動きをつくる運動がある。更に細分化すると、体のバランスを整える運動、体を移動する運動がある。体のバランスを整える運動は、ジャンプをして着地をしたときに体のバランスを取ることで、体を移動する運動は、走ったり跳んだりと様々な動きが要求される。このような体づくり運動遊びをするのに当たって、鬼ごっこで取り入れられる動きは最適なものであり、何かを削って単元構成をすることはなく、体力向上に向けてかなり効果があると予想される。

【教育委員】

- ・ 体力測定の結果で、凹んだ部分がないようにバランスよく様々な活動を取り入れてほしい。また、審判員を派遣するなど、子どもの意欲を高める工夫があるのも良いと思う。

【教育委員】

- ・ 5月20日に浩養小学校で実施した中で市内の先生方も参加し質疑応答もあったということだが、その時の先生方の感想や受け止め方を教えてほしい。

【学校教育課長】

- ・ 授業へ導入する際に具体的にどういう用具を使ったら良いのか、そして浩養小学校で行ったときには、鬼ごっこ協会公認のゴールや宝物を使っていたため、それらを学校でどのように代用できるか、コートの高さや人数の関係、小学校高学年に導入するとどういうことが起きるのかなどの質問があった。

【教育委員】

- ・ 先生方は導入に向けて意欲的な姿勢が見られたということによろしいか。

【学校教育課長】

- ・ はい。実際に質疑応答が終わった後に、1年生を担当している先生に聞いたところ、早速やってみたいとのことであった。

【教育委員】

- ・ ちょうど5月から体力テストがあり、データを取ることができるため良いタイミングだと思う。
- ・ ライセンスの取得について、市の職員に募集をかけるということで学校にとっては嬉しいことだが、市の職員の通常業務に支障はないかが心配。

【総務部長】

- ・ 市の職員の派遣について、現在13名の応募がある。派遣については、各所属長の調整を図りながら派遣していきたいと考えている。

【教育委員】

- ・ 今後の導入スケジュールについて、校内・学級対抗戦等を行った後、学校間での交流やスポーツでの交流を通して体力向上、地域交流にも貢献できると思うので、継続して取り組んでほしい。
- ・ ライセンス取得の件について、審判員は市の職員以外にドッジボールや

綱引き等に取り組んでいる青少年相談員連絡協議会などと連携していくことも一つの手だと思う。

【教育委員】

- ・ 浩養小学校でのスポーツ鬼ごっこを見学したが、子どもたちも楽しみながら取り組んでいるように見え、それで体力向上につながればとても良いと思う。

【教育委員】

- ・ 現在富里市内にあるスポーツ少年団がいくつかあると思うが、その活動の中での準備運動などに取り入れてもらうことも検討してほしい。

【市長】

- ・ 幼児期から始めた鬼ごっこを、今度小学校に導入できることは嬉しく、期待心が強い。今後も委員の皆様の御意見等を伺いながら、一過性で終わらせることなく継続していきたい。
- ・ 単元の考え方について、先ほど多様な動きをつくる運動遊びとして導入できるということだが、スポーツ鬼ごっこは、小学校低学年の場合、チームを分けたりなど、思いどおりに動かない部分もあるかと思うが、このあたりは各学校におまかせしていくのか、それとも教育委員会で考えて各学校に指導や助言をしていくのか。

【学校教育課長】

- ・ 具体的に授業時間の45分間をどう進めていくかということについて、現在、指導主事と調整をしている。できるだけ多く学校に足を運び、積極的に関わって共通した動きが全校でできるよう努める。

4 その他

- ・ 特に無し

5 閉会